

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	テオクリトス 第二歌「女魔術師」
Author(s)	八木橋, 正雄
Citation	プロピレア , 28 : 114 - 105
Issue Date	2022-12-30
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053436">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053436</a>
Right	Copyright (c) 2022 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



テオクリトス

第二歌「女魔術師」

八木橋 正雄 訳

セレネさま、良く輝いてください、歌を捧げますから、  
そして地の女神ヘカテさま、墓と、黒い血を抜けて  
こられるときに、

子犬たちも恐れ震えます。ようこそ、恐ろしい  
ヘカテさま、

最後までよろしくお願いします、呪い薬が、キルケや

メディアや

金髪のペリメデス（アガメデ）のものに

比肩しないように。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

まず、大麦が火にくべられる。撒きなさい、さあ、

テスチュリス、

何に気をかけているの、気を散らさないで。不幸もの

二〇

撒きながら、こう唱えるの。「デルピスの骨を撒く」と。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

デルピスが私を苦しめるから、ゲツケイジユを

デルピスの上に焼く。

デルピスの身体もゲツケイジユの炎のなかに、

ゲツケイジユは何処、持ってきておくれテスチュリス、  
惚れ薬は何処、マゼンタの子羊毛で壺を巻いて下さい。  
呪ってあげる、つれない友、  
十二日も来らず、死せるか生きているかも気にかげず、  
戸口を叩こうともしない。

きつとエロースとアフロディテが移ろい易い友の心を  
他所に持ったのでしよう。

明日はティマゲストスの体育場に行つて会い、

私への仕打ちを咎めましょう。

でも今は、友を呪ってやるわ、

一〇

灰も残らず燃え尽きる。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて来てください。

二十七

さあ、粉殻を捧げましょう、汝、アルテミスは、

三十三

その他堅いあらゆるものを揺るがす力の主、  
テステイリス、街で雌犬たちが吠えている、

女神が三叉路にいらしている。

青銅をひびかせなさい。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

ごらん、海は静か、風も凧いでいる。

しかし、私の苦しみは治まらない。

胸の内で燃えたぎっている。

四〇

それらすべてが「妻」の代わりに「乙女」ともなく

不幸せにしたあの男。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて来て

ください。

さあ、あの蠟を女神の加護で溶かしてしまおう。二十八

ミンドス生まれのデルピスも、「愛」に

溶けますように。

二十九

青銅の円盤が回るように、アフロディテの力で、三十  
私の戸口へ回ってくるように。三十一

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

三十二

三度灌匐を捧げ、三度お招きします。

四十三

「あの友の横にいるのが女であれ男であれ、忘れてほしい。  
テセウスが昔、ナクソスで髪麗しいアリアドネを

忘れたと、いうように。」

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

ヒッポマネスはアルカディアの花、

その花に牝馬も皆、

俊足の牝馬も皆、山々を狂ったように

そんなデルピスが見たい。

五〇

競技場からオリーブを塗って、この家にやってくる。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

この外衣の端は、デルピスが落としていったもの

それを裂いて燃えさかる火に投げ入れる。

ああ、エロースは狂おしい、なぜに黒い血をのこらず

吸いつくす。

私のからだにからまって、沼の蛭のように。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて来てください。

トカゲを掃り潰して、明日持つていこう、

悪しき飲み物にして。

汝、テスチュリス、この薬を持って、あの人の敷居に

塗り込んでおくれ、

六〇

私は今もまだ、その敷居に心を縛られ続け、あの人は私を気にかけない。

そして呪いなさい「デルピスの骨を塗ります。」と。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

今、一人になって、何から私の恋を語りましょう。

どこから話しましょう、誰が私をこんなにさせたのか、

エウブロスの娘で籠かつぎの女、アナクソと、

アルテミスの神域に行ったとき、

様々な動物たちが行列をつくり、

そのなかには、牝ライオンも加わっていたわ。

清らかなセレネさま、何処から愛が来たか、

お教えください。

テウマリダスのトラキア生まれの乳母は

七〇

もう亡くなったけれど、

私の隣に住んでいて、せがんだり、

たのんだりしたので、

この行列を見にいったわ、不幸な私は、

引かれてついていったわ、

麻のこざれいな害衣にクレアリタスのマントを着て。

清らかなセレネさま、何処から愛が来たか、

お教えください。

道半ば、リュコンの家にさしかかった時、

デルオイスがエウダイミツポスと来るのを見ました、

髭は、ムギツラギクより黄色く、胸はあなたさまより

輝いていました、

セレネ女神さま、やつはギムナシオンで運動の

帰りだったのです。

八〇

清らかなセレネさま、何処から愛が来たか、

お教えください。

やつを見たあなた、我を忘れて、心は潰れてしまい、

顔色は失せ、

行列のことも忘れて、もうどうゆう風にして

家にたどり着いたかも、

解りません。烈しい病が私を襲い、十日十晩

床につきました。

清らかなセレネさま、何処から愛が来たか、お教えください。

私の肌はすっかりタプンス（黄染色）となり、

髪もこうべから落ち、

骨と皮になりました。何処の家を尋ねれば

いいでしょうか。

魔術老婆の家を尋ねればよかつたかしら、

でも、苦しみは収まらず、いたずらに時が

過ぎていきました。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

そこで、召使に打ち明けたのです。

「さあ、テストイリス、このつらい病に効く薬を

見つけてきておくれ、

哀れな私はミュンドスの男にすべてをとらまえられた。

タイムゲドスの運動場は言って、見つけてきておくれ、

やつはあそこに通っているから、そこにいるのが

好きだから。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

一人のときをみつけたら、そつと合図して、 一〇〇

シマイタが待っているって、ここに誘いを告げておくれ。」

私はこう伝えて、召使いは行き、輝く肌のデルピスを、

私の家に連れてきた。足取りも軽く

私の家の敷居を超えるのを見たたん、

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

私は雪よりも固く凍り付いて、顔の汗は

凍ったつゆのように流れ、

なにも声になりません。あたかも子供が眠りながら、

愛しい母親に、ぐずって、声が出ず、

苦しんでいるときのよう。

石膏の人形のように、身体はこわばり、縛られました。

一一〇

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

つれない人は私を見て、目を地に伏せ、床に座って

こう言った。

「たしかに、シマイタ、あなたが

呼んでくれたとこよりも、

「私が来るのが少し早かった。」

それくらい、美しいピリノスより早く走った。」

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて来てください。

「なぜなら、甘美なエロースにかけて

三人か四人の友と連れだち、

ディオニッソスのりんごを懐に入れ、

清きヘラクレスの後裔のポブラの冠に紫の紐を巻き上げ

甘いエロースにかけて、私は来るところでした。」

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

「実のところ、私はすべての若者のなかで、

身軽で美しいと、

呼ばれていたから、あなた方が、私を

迎え入れてくれれば、嬉しかった。

そして君の唇に口づけをするだけで、

帰るつもりだった。

でも、私を追い立てたり、戸口に門がかけられたら、

斧と松明を持って、お宅へ伺ったことでしょう。」

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ

連れて来てください。

しかし、まずキュプリスの、次いでキュプリスの

おかげで、そして、

あなたさまのおかげで、あなたのこの家から、

半分焦げた私を、

誘いかけ、炎のなかから、救い出してくださいました。

なぜなら、エロースはしばしばリパラ島の

へパイストスより、

激しい炎を燃やすから。

アリスイ（ユンクス）よ、友を私の家へ連れて

来てください。

よこしまな炎で、まだあたたかい良人の床から、

人妻を捨て、乙女のしとねに、去るのです。」

こう友は言う、人を信じやすい私は、

ともの手を取って、やうえあらかい床に臥下。

すぐに身体と身体は燃えたぎり、

顔はいましも熱くなつて、

もつともつとささやくのです。

いとしいセレネさま、もうよいいなことは

申し上げません。

事は成就して、私たちのぞみは果たされて、

きのうまでは、私はなんの不足もありませんでした。

一三〇

一四〇

でも、今日、笛吹きのパリスたと、メリクソの二親が、バラ色の暁を、海から登る馬たちが駆け上がり、私のところへ来る頃、

その二親がいろいろ話ししてくれるには、

デルピスは恋をしていて、それは女かも男かもしれないけれど、彼には、いて、

一五〇

はつきりとはわからないけれど、とにかくいる。

彼は毎日、澄み切った葡萄酒を、愛人に捧げている。

その愛人の家を花束で飾ると言って、

すぐに出てしまう。

暁の客人は私にこう語ると、

それはしかり、彼は私のところに、三回か四回、

それよりも数多く、

ドリスの坪をもってきました。

でも、もう十二日姿をみせません。

ほかに誰かいいひとができて、

私たちのことをわすれたのでしょうか。

いまは、ほれ薬で呪ってあげる。

もし、もつと苦しめるのなら、

モイラに誓ってハデスの門を叩く。

これが毒薬です。カゴに入れて彼のために、

一六〇

アッシリアの客人から学んだものです。

おおセレネさま。

セレネさま、海へ馬をおすすめください。

清き女神さま、私は悔みに耐えますから、

さようなら、肌の輝かしいセレネさま、

静かにニュクトスの車のお伴をする星達よさようなら。

### 【ローマ字翻字テキスト】

THEOKPITIOY Pharmakeytirai

pa moi tai daphnai? phere, Thesyili. pa de ta phitira? 1

stepson tan keleben phoinikeo oiios aoto,

hos ton enon baryn eynta philon katadesomai andra,

hos moi dodekataios aph' o talas oyde pothikei,

oyd' egno poteron tehnakames e zoi eimes 5

oyd thyras araksen anarisos. e hra oi alla oche't' echon o t' Eros tachinas phrenas ha t' Aphrodiata baseymai poti tan Timagitoio palaistran ayrion, os nin ido, kai memphomai oia me poiioi. nyn de nin ek thyeon katadesomai. alla, Selana, phaine kalon, tin gar potaaisomai hasycha, daimon, ta chthonia th' Hekata, tan kai skylakas tromeon ti erchomenan nekyon ana t' eria kai melan aimu. Chair', Hekata daspleti, kai es telos ammin opadei, pharmaka tayt' erdoisa chereiona mete ti Kirikas mete ti Medeias mete ksanthas Perimedas. Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. alphita toi praton pyri taketai, all' e pipasse, Thestyli. deliata, pa tas phrenas ekpepotasai? e hrpa, ge then, niusara, kai tin epicharma teyigmai? pass hama kai lege tayta, " ta Delphidos ostia passo. " Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. Delphis em aniasen. ego d' epi Delphiidi daphnan aitho, chos ayta lakei mega kappyrisasa keksapinas haphthy koyde spodon eidomes aytas, oyto toi kai Delphis eni phogi sark' amathynoi.	10 15 20 25	Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. nyn thyso tay pityra. ty d', Artemi, kai ton en Hoida kinesais adamanta kai ei ti per asphaltas allo --- Thestyli, tai kynes ammin ana ptolin oryontai, a theos en triodoisi, to chalkeon os tachos achei. Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. enide sigē men pontos, sigonti d' aetiai, ha d' ema oy sigē sterron entoshen ania, all' epi ty no pasa kataithomai hos me talaman anti gynaikos etheke kakan kai aparthēon emen. Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. hos toyton ton kepron ego syn daimonti tako, hos takoi th' yp' erotos o Mynrdios antika Delphis. chos dineith' hode rhombos o chaleas es Aphroditas, hos tenos dimoito poth ameteraisi thyraisin. Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. es tris apospendo kai tris tade, potmia, phono. eite gyna teno parakeklitai eite kai aner, tosson ehoi lathas hosson poka Tedeā phanti en Dia lasthemen epylokamo Ariadnas. Iygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra.	33 40 28 29 30 31 32 45
--	----------------------	--	--

ippomanes phyton esti par' Arkadi, to d' epi pasai kai poloi mainontai an' oreá kai thoai hippoi, hos kai Delphin idiomí, kai es tode doma perasai mainomeno ikelas liparas eklosthe palaistras. lygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. toy' apo tas chlainas to kraspedon olese Delphis, hogo nyn tilloisa kat' agrio en pyri ballo.	50	phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. kai m' a Theymarida Thrassa trophos, a makaritis, agechithyros naioisa kateysato kai litaneyse tan pompan thasasthai, ego de oi a megaloitos omarteyn byssotoi kalon syroisa chitona kamphisteitamena tan ksystida tan Klearistas. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana.	70	
aiai Eros aniaie, ti mey melan ek chroos aimá emphus hos limnatis hapan ek bdella pepokas? lygks, elke ty tenon emon poti dota ton andra. sayran toi tripsasa kakon poton ayriton oiso. Thestyli, nyn de laboisa ty ta throna tayth' ypomakson tas teno psilias kath' yperteron has eti kai nyks, ek thymo dedemai, ho de men logon oydena poiéi kai leg' epritryzoisa "ta Delphidos ostia masso. "	55	ede d' eyssa mesan kat' amaksiton, ha ta Lykonos, eidon Delphin homoy te kai Eydampippon iontas, tois d' es ksanthotera men elichrysoioi geneias, stethea de stilbonta poly pleon e ty, Seiana, os apo gymnasioioi kalon ponon arti liponton. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. nos idon, hos emanen, hos moi pyri thymos iaphthe deilaias, to de kallos etaketo. oyketi pompas tenas ephrasaman, oyd' os palin oikad' apenthon egnon, alla mme tis kapyra nosos eksesalaksen, keiman d' en Kinteri deki' amata kai deka nyktas. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. kai mey chros men omoiots egineto pollaki thaplyso, errey'n d' ek kephalás pasai triches, ayta de poipa	65	85
60	80			

hosti' et' es kai derma. kai ek timos oyk eperasa. e poias elipon gratias domon hatis epaden? all' es oyden elaphron, o de chronos anyto pheygon. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. choyto ta dola ton alatheia mython eleksa.	90	phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. kai m' esidon ostorgos epi chthonos ommata pakas ezet' epi klinteri kai ezomenos phato mython, "he rha me, Simaita, toson ephthasas, hoson ego then pran poka ton charienta trachon ephthasasa Philinon, es to teon kalesasa tode stegos e me paremen phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana.	115
"E' d' age, Thestyli, moi chalepas noso eyre ti machos. pasan echei me talainan o Myndios, alla moloisa tereson poti tan Timagetoio palaistran, tenei gar phoite, tenei de oi ady kathesthai. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. kepei ka nin eonta mathes monon, asycha neyson, keiphi' hoti " Simaita ty kalei, " kai yphageo teide. : hos ephaman, ha d' enthe kai agage ton liparochron eis ena domata Delphin, ego de nin hos enoesa arti thyras yper oydon ameibomenon poti koypho --- phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana.	95	phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. e tritos ee tetartos eon philos aytika nyktos. mala men en kolpoisi Dionysioi phyllasson, krati d' echon leykan, Herakleos ieron ermos, pantothi porphyreaisi peri zostrainsin eliktan. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. kai, k', ei men m' edechesthe, tod' es phila (kai gar elaphros kai kalos pantessi met' eitheoisi kaleymai), eydon t', ei ke monon to kalon stoma teys ephitesa, ei d' alla m' otheite kai a thyra eicheto mochio, pantoos ka pelekeis kai lampades enthon eph' ymeas. phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana.	120
pasa men ephuychthen chionos pleon, ek de metopo idros men kochydesken ison notiatisin eeratsis, oyde ti phonesai dyanaman, oyd' hosson en ypono knyzeyntai phoneynta philan poti matera tekna, all' epagen dagydi kalon chroa pantohen isa.	105	phrazeo mey ton eroth' hothen iketo, ponta Selana. nyn de charin men ephan ta Kypridi praton opheteim, kai meta tan Kyprin ty me deytera ek pyros eiley,	130
	110		

